

2025年度第6回 J A北海道厚生連 帯広厚生病院倫理審査委員会 会議の記録概要

倫理審査委員会 事務局

開催日時	2025年9月4日（木）
開催場所	書面開催
審査委員名	高村 圭「委員長」、加納 崇裕、山内 英智、宮本 憲幸、吉田 晃 鈴木 千波、鈴木 淳、山根 邦子 外部委員：北村 延夫、岩田 明子
委員数	審査委員数：10名／全委員数：10名
審議課題：審議結果を含む主な議論の概要	

研究課題番号	2025-063
審議案件名	当院における破裂脳動脈瘤に対する治療の現状
実施責任者	脳神経外科 主任部長 能代 将平
審議内容	【迅速審査】 本件は、当院における破裂脳動脈瘤に対する治療の現状に関する後向き観察研究である。 本研究は、既存情報のみを用いて実施する学術研究であり、研究対象者の安全性を脅かすことはないことから迅速審査と判断した
審議結果	承認

研究課題番号	2025-064
審議案件名	治療抵抗性の抗NMDA受容体抗体脳炎患者に対するリツキシマブ投与
実施責任者	脳神経内科 永井 久子
審議内容	【迅速審査】 本件は、治療抵抗性の抗NMDA受容体抗体脳炎患者に対するリツキシマブ投与に係る介入研究である。 本研究は、製薬会社発行の「適正使用ガイド」に記載された治療法であり、対象者に同意書も取得することから、迅速審査と判断した。
審議結果	承認

研究課題番号	2025-065
審議案件名	当院における脳静脈血栓症の症例についての検討
実施責任者	脳神経内科 永井 久子
審議内容	【迅速審査】 本件は、脳静脈血栓症の症例に関する後ろ向き観察研究である。 本研究は、既存情報のみを用いて実施する学術研究であり、研究対象者の安全性を脅かすことはないことから迅速審査と判断した
審議結果	承認

研究課題番号	2025-066
審議案件名	脳静脈洞血栓症に対する機械的血栓回収術の治療成績の後方視的検討
実施責任者	脳神経外科 笹川 彩佳
審議内容	【迅速審査】 本件は、脳静脈洞血栓症に対する機械的血栓回収術に関する後ろ向き観察研究である。 本研究は、既存情報のみを用いて実施する学術研究であり、研究対象者の安全性を脅かすことはないことから迅速審査と判断した
審議結果	承認

研究課題番号	2025-067
審議案件名	当院におけるくも膜下出血発症後の脳血管攣縮治療の比較
実施責任者	脳神経外科 笹川 彩佳
審議内容	【迅速審査】 本件は、くも膜下出血発症後の脳血管攣縮治療に関する後ろ向き観察研究である。 本研究は、既存情報のみを用いて実施する学術研究であり、研究対象者の安全性を脅かすことはないことから迅速審査と判断した
審議結果	承認

研究課題番号	2025-068
審議案件名	” 膝がん早期診断プロジェクト” の診療情報を用いた、十勝地域の膝発癌実態ならびに膝がん治療成績に関する多施設共同後視的研究
実施責任者	消化器内科 主任部長 松本 隆祐
審議内容	【迅速審査】 本件は、令和2年10月に承認された研究であり、研究期間変更による予定症例数変更の申請である。 介入、侵襲もなく軽微な変更である為、迅速審査と判断した。
審議結果	承認
研究課題番号	2025-069
審議案件名	抗リン脂質抗体症候群及び抗リン脂質抗体症候群疑い患者における前向き研究（内科IIレジストリ）
実施責任者	消化器内科 主任部長 清水 裕香
審議内容	【迅速審査】 本件は、令和元年9月に既に承認された研究であり、研究期間の延長、分担医師の変更等による変更申請である。 軽微な変更である為、迅速審査と判断した。
審議結果	承認
研究課題番号	2025-070
審議案件名	全身性エリテマトーデスの再燃に対する免疫抑制剤併用によるステロイド非依存治療プロトコール開発
実施責任者	消化器内科 主任部長 清水 裕香
審議内容	【特定臨床研究】 本件は、令和2年6月に既に承認された研究であり、症例の募集終了、病院長変更等による変更申請である。 軽微な変更である為、迅速審査と判断した。
審議結果	承認
研究課題番号	2025-071
審議案件名	切除不能肝細胞癌に対するアテゾリズマブ+ペバシズマブにTACE療法を追加することの有効性を検証する多施設共同第Ⅲ相臨床研究（変更申請）
実施責任者	放射線科 第1主任部長 宮本 憲幸
審議内容	【迅速審査】 本件は、令和5年6月に既に承認された特定臨床研究であり、研究施設の追加、システム不具合に伴う各種変更申請および定期報告である。 軽微な変更である為、迅速審査と判断した。
審議結果	承認
研究課題番号	2025-072
審議案件名	北海道におけるシラカバ花粉症と 花粉食物アレルギー症候群の有病率調査（全道調査）
実施責任者	呼吸器内科 副院長 高村 圭
審議内容	【迅速審査】 本件は、シラカバ花粉症と 花粉食物アレルギー症候群の有病率に関する横断研究である。 本研究は、QRコードを介しての任意のアンケート調査であり、研究対象者の安全性を脅かすことはないことから迅速審査と判断した。
審議結果	承認